

概要

- 当地区は古来より漁業が盛んで、漁村、内陸型の黒部漁港、可動式の生地中橋はじめ多くの施設や、漁業にまつわる由緒ある歴史・文化を有する。また、漁港施設用地を有効活用したくろべ漁協直営店・「魚の駅生地（いくじ）」や釣り桟橋を備えた石田フィッシャリーナが点在している。
- これら連携を密にしながら漁村体験プログラム等を作成・実行し、交流人口の拡大を図る。
- また、山間地には年間宿泊者数30万人を数える温泉地を有するが、近く黒部宇奈月キャニオンルート
の開放も予定されており、海と山が連携した周遊性のある観光コースづくりを進めていく。



海業の取組概要

1. 「くろべの漁村プレミアムパッケージ」作成プロジェクト
⇒黒部の漁港周辺地域の全歴史・文化や漁村・漁業の魅力を活用した特別感のあるガイドツアーやワクワクする漁業体験等の提供を通じて、地域や漁業者の所得向上につなげていく。

2. 「黒部のさかな」リバイバルプロジェクト
⇒黒部で漁獲される魚と黒部の特産品とのコラボレーション等を通じて黒部の魚のブランド化や魚価・漁業所得の向上につなげていく。

3. 「あそんで、たべて、まなんで」黒部の漁村体験プロジェクト
⇒石田フィッシャリーナ等の既存施設を活用した体験・イベント等を通じて地元の賑わいづくりや地元愛の醸成、魚食の普及と将来の漁業者の担い手確保につなげていく。

4. 「くろべの漁村体験・教育旅行」誘致プロジェクト
⇒黒部の自然や魚、歴史、文化等を体験し学べる教育旅行を誘致することで、魚食普及や地域活性化、関係人口の増加につなげていく。

5. 漁村の空き家活用・整備&アクセス改善プロジェクト
⇒空き家等を活用した宿泊・滞在施設の整備やアクセスの改善等を進めていく。

6. IKUJI⇄UNAZUKI 連携プロジェクト
⇒黒部宇奈月キャニオンルートから魚の駅生地まで山から海への連携を図ることで、集客等の相乗効果を図っていく。



海上花火大会の漁船パレード



黒部宇奈月キャニオンルート

効果

漁村の交流人口
16万人（現状）⇒30万人（目標値）

協力体制

くろべ漁業協同組合
富山県水産漁港課
黒部市産業振興部
（一社）黒部・宇奈月温泉観光局
漁村文化ミュージアムIKUJI協議会
黒部観光ガイド生地
生地、石田自治振興会
（一社）フィッシュマンジャパン
魚の駅生地

スケジュール

令和7年6月くろべ海業推進協議会設立
～令和8年3月 漁村体験プログラムの
プラン化、実証実験
令和8年3月 漁村体験プログラム実施
計画策定